

研究協力のお願い

昭和大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

研究課題名：大腸腫瘍における内視鏡的粘膜下層剥離術後の長期予後及び再発因子についての検討に関する研究

1. 研究の対象

昭和大学横浜市北部病院消化器センターに受診し、2003年9月から2019年12月に大腸腫瘍に対して内視鏡的粘膜下層剥離術を受けられた方。

2. 研究目的・方法

大腸腫瘍における内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)は、近年開発・発展してきた治療法で、従来は外科手術が必要であった大きな病変や内視鏡切除が困難な病変に対して、専用の電気メスを用い、少しずつ病変を剥離していくことで、高率に病変を一括に切除することができ、高い根治が望める効果的な内視鏡治療です。大腸腫瘍におけるESDは、本邦で年間15,000件実施されております。当消化器センターは2003年から2019年に1504人の患者さんに対してESDを施行しており、非常に豊富な症例数を備えております。今回、治療後の患者さんの長期予後及び再発因子に関して検討する計画をいたしました。本研究は今後の大腸ESD治療の発展に寄与できると考えております。

研究期間

昭和大学横浜市北部病院臨床試験審査委員会承認後、病院長の研究実施許可を得てから
2022年03月31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

提供していただく資料は、切除した大腸腫瘍や内視鏡所見、その検査に関する診療情報です。具体的には、患者さんの情報（年齢・性別など）、これまでににかかった病気（既往歴）や、病変情報（腫瘍の大きさ・形など）、治療情報（治療時間、病理結果など）について診療録から収集します。個人のプライバシーの情報を保護することは、法律で決められた医師の義務です。他人に個人の情報が漏れないように、取り扱いを慎重に行っています。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学横浜市北部病院 消化器センター 氏名：奥村 大志 （研究責任者）

住所：224-8503 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎 35-1 電話番号：045-949-7000